



12月 学び



信号の見方・交通ルールを守り方

(健康・環境)

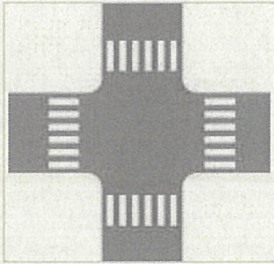
※交通ルールについて、自宅近くの道路などを想定して話し合うよう保護者に呼びかける。



《ねらい》

- 正しい信号の見方を知る。
- 交通ルールを守る習慣を身につける。

《活動》

子どもの活動	保育士・教師の働きかけ等
1 大切な命について、先生の話聞く。	○一人にたった一つしかない大切な命の話をするということ子どもたちに真剣に話す。 ・楽しく遊んでいても、思いがけないことから事故につながることもあるということを伝える。
2 信号の見方について知る。  交差点  一時停止 止まれを見たら、いったん停止、右左、もう一度右を見て、手をあげて渡りましょう。	○「信号の見方を知っていますか？」 ・信号機の絵を出して、みんななら、どうするかを話させる。 【赤信号】【青信号】【点滅信号】 ・どの信号を見ればよいのか、交差点を意識させて練習させる。  《教え方》 正しい見方を教える。(動作つき) 信号機が赤の時 ⇒ 渡る場所に止まって待つ。(両足をそろえる) ⇒ 次、青信号になったら、右左右を確認する。 ⇒ 手を挙げて渡る。 信号機が青の時 ⇒ 右、左、右を確認する。 ⇒ 自動車がないことが確認できたら、あわてず、手を挙げて渡る。 信号機が点滅している時 ⇒ 止まって、次、青信号になるまで待ってから渡る。 渡っている途中に、信号が点滅した時 (子どもの実態による) ⇒ 横断歩道を渡りながら、安全を確認して渡りきる。(戻らない)
3 実際にやってみる。 (信号のイラストや交差点などの場面作りをして体験させる。)	○「実際にやってみましょう。」 ・交通ルールを守ると、大切な命も守ることができることを話す。 ・自転車、三輪車に乗るときはヘルメットをかぶる ・止まれのマークで、必ず止まる。 ・横断歩道では、手をあげて渡る。  命を守るヘルメット



信 号



止まれ（標識）と白線

しまね

おぎんをきて



ひだろをきて

協議連絡員交通入間山狭

クマール止



1月 学び



安全に横断歩道を渡ろう

(健康・環境)

※交通安全については、家庭にも呼びかけ、再確認する。



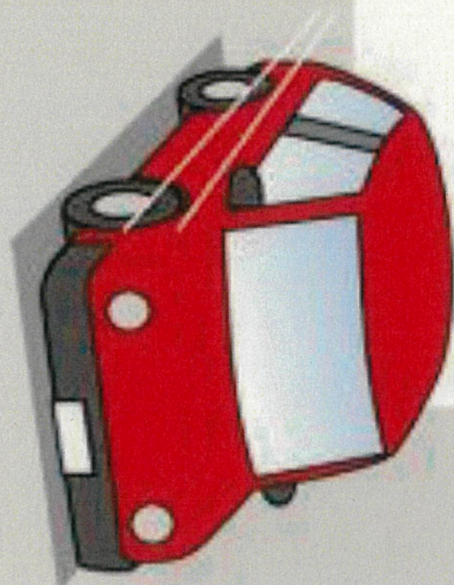
《 ねらい 》

- 横断歩道の正しい歩き方を知る。
- 安全に道を渡る習慣を身につける。

《 活 動 》

子どもの活動	○保育士・教師の働きかけ等 ☆子どもの反応 ・留意点等
1 安全について、先生の話聞く。	○ペープサート・紙芝居等を使って、子どもの興味を引く。 ○子どもたちが気付いたことをできるだけ多く話させるようにする。
2 危ない場面や気づいたことを話す。	【お話しの例】 ・○○ちゃんがお母さんと保育所（園）・幼稚園へ行こうとしています。 ・○○ちゃんが、道路の向こう側の□□君を見つけて、お母さんから離れて飛び出しました。（横断歩道を渡る） ・そこへ、車が走ってきて、急に止まりました。 ○「このお話しの中で、危なかったところはどこでしょう？」 ・危なかったところは、どこなのかを話させる。 ☆お母さんから離れない。 ☆家の人と手をつなぐ。 ☆信号を見る。 ☆手を挙げて渡る。 等 ○「みんななら、どうしますか？」 ・自分の考えを素直に話させる。
3 実際にやってみる。	○実際に、横断歩道を渡る練習をする。 ・横断歩道の手前で立ち止まる。 ・右、左、もう一度右を見る。 実際に言ってみる 「右を見て、左を見て、もう一度右を見て」「手を挙げて渡ります」 ・自動車が来ないことを確認する。 ・手をあげて渡る。 ※12月（信号の見方・交通ルールの守り方を確認する。）







2月 学び



知りたいな！交通マーク

(健康・環境)

※自宅近くの交通マークについて、家族で話し合うよう呼びかける。

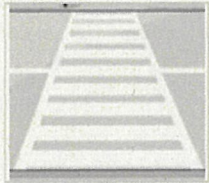


《 ねらい 》

- いろんな交通マークを知る。
- 交通マークが何を意味するのかを知る。

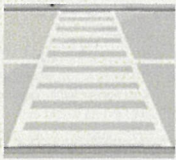
--

《 活 動 》

子どもの活動	○保育士・教師の働きかけ等 ☆子どもの反応 ・留意点等
1 身近な道路標識を提示する。	○よく見かける交通マークを紹介する。    ○知っている子どもがいたら、どこでこのマークを見つけたのかを聞く。
2 道路には、たくさんの交通マークがあることを教える。   自転車横断帯 自転車に乗った人はここで道を渡ることができる	○各施設の身近な交通マークの写真を撮り、実際に見せながら交通マークを紹介する。   道をわたっては いけません かならず止まります 横断歩道があります ○マークを見て、何を意味しているのかを声に出させる。 【例】止まれマーク ⇒ 「止まります！」 ○家に帰ったら、近くの交通マークを探して、先生や友だちに教えるように話す。(家の人と一緒に探す・1人で出かけない)

みつけたら、せんせい や ともだちに しらせよう！

なまえ ()

みちのマーク	やること	みつけたら、○をつけよう！
	かならずとまります	
	おうだんほどうが あります	
	みぎ・ひだり・みぎ をみて てをあげて わたります	
	じてんしゃに のるひとや あるくひとが とおるところです	
	みちを わたっては いけません	



止まれ（標識）



横断歩道と標識



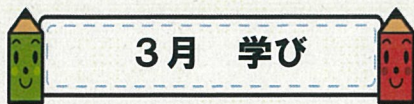
横断歩道



自転車歩道通行可
ここから

自転車及び歩行者

専用



3月 学び

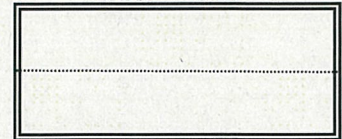
発見！危ない場所

(健康・環境)



《 ねらい 》

- 家の外での安全な遊び方や遊びに危険な場所を知る。
- 道路でのルールやマナーを学ぶ。



《 活 動 》

子どもの活動	○保育士・教師の働きかけ等 ☆子どもの反応 ・留意点等
1 いつも外でどんなところで遊んでいるかを思い出す。	○「いつも、外で何をして遊んでいますか？」 ☆ゲーム ☆自転車 ☆なわとび ☆キックボード ☆ボール遊び ☆おいかけっこ ☆三輪車、自転車 ・自由に普段の生活を思い出させる。 ○「どこでその遊びをしていますか？」 ☆家の庭 ☆道路 ☆友だちの家の庭 ☆公園 等
2 道路には、危険がたくさん隠れていることを知る。	○「みんなが遊ぶ場所には、危ない場所もあります。」 ・道路にかくれている危険な場所を紹介する。 【危険な場所の例】 ・縁石 ・交差点 ・塀のある場所・垣根のある場所
3 道路のルールやマナーを知る。	○道路ではルールやマナーがあることを教える。 ・道路では、遊ばない。(走り回らない) ・道路では、大声で騒がない。 ・道路では、飛び出さない。  ○家に帰ったら、家の人にも道路のマナーについて話そうにうながす。

みんなあんぜん

小学校編

目次

№	内 容	ページ
1	家から集合場所まで（登校）	1
2	下校班の並び方（再掲）	5
3	下校班の歩き方（改訂）	6
4	横断歩道の渡り方（改訂）	8
5	大雨、雷から身を守る（竜巻）	9
6	廊下・階段の歩き方（改訂）	11
7	熱中症対策	14
8	遊具遊び（再掲）	15
9	防災頭巾の身につけ方（再掲）	18
10	知らない人への対応	21
11	こども110番の家	22
12	危険な遊び（道路など）	25
13	自転車の正しい乗り方	29

遊びと学びの手引き安全編の活用の仕方

- ① 10分～20分程度 ⇒ 学級での指導や学級活動においても活用できる。
 - ② 参考資料 ⇒ 写真画像やイラストが活動案に付いている。
（視覚的に児童に伝えることが可能）
 - ③ アレンジ ⇒ 活動案を参考にして、活動を効果的にする。
（外で活動したり、具体物を作成したりなど）
 - ④ 保護者への啓発 ⇒ 安全について指導していることや家庭での安全対策についても呼びかける。
 - ⑤ 活用時期 ⇒ 指導にふさわしい時期を選んで活用する。
- ※ 指導内容については、職員間で連携を図ることが大切である。



いきいき 1 年生



家から集合場所まで（登校）

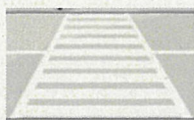
～ 基本的な生活習慣・約束事 ～

1 目標

- 家から集合場所まで行くときの安全な歩き方が分かる。

2 展開

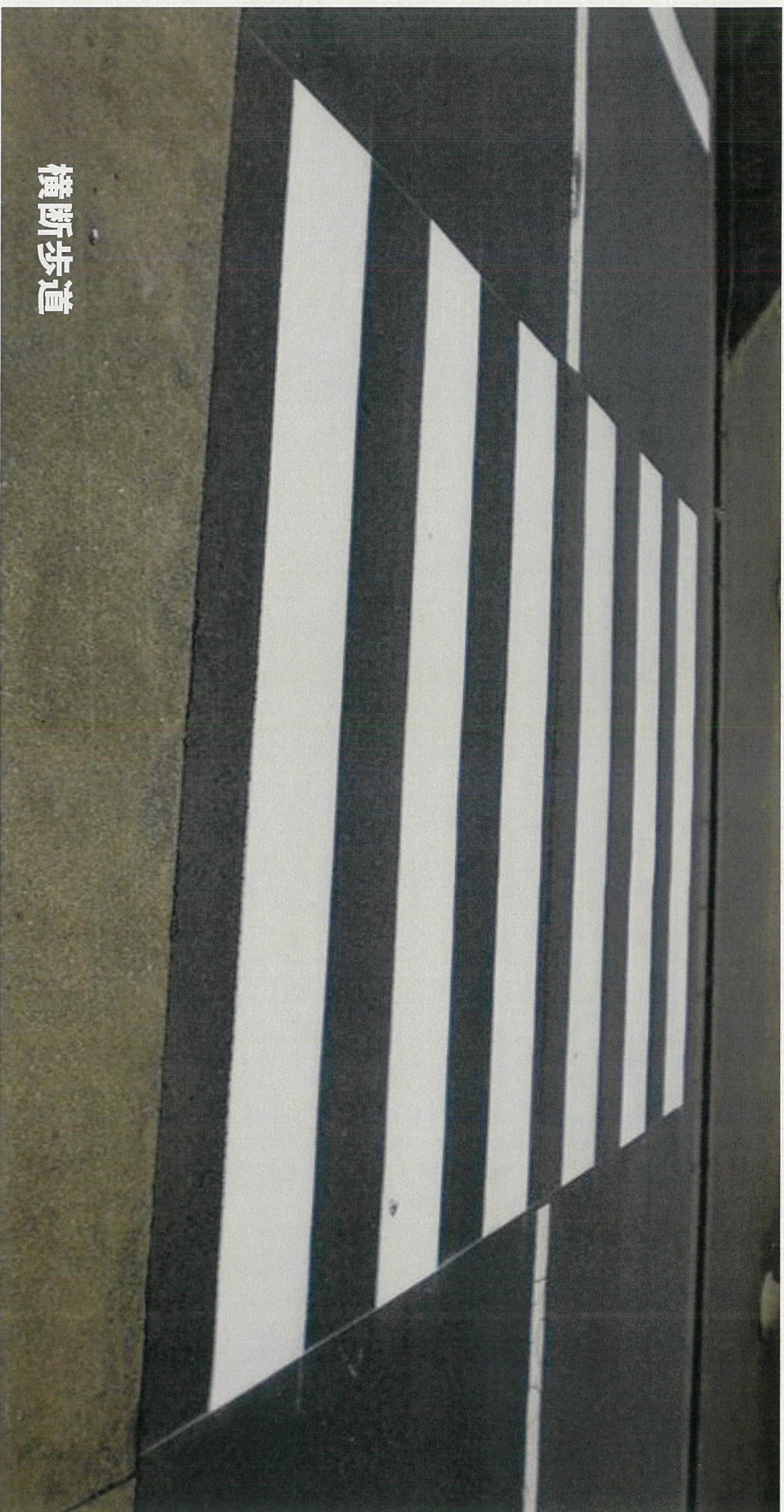
学 習 活 動	○教師の指導やねらい等 ☆子どもの反応 ・留意点等
1 それぞれの登校班の集合時刻や集合場所について確認する。	○「みんなは、朝何時に集まっていますか？」 ・ 7 : 30 分前後に集まっていると思われる。 ○「何をして、みんながそろそろのを待っていますか？」 ・ 集合場所で、どのように待っているかを思い出させる。 ☆遊んで待っている。（走り回る） ☆ぶらぶらしている。 ○「待つときは、その場を離れないで、安全に待ちましょう。」
2 集合場所に行くまでどのように歩いているのかを話し合う。	○「集合場所に行くまで、どんなふうに歩いて行きますか？」 ☆道の右側を歩いている。 ☆寄り道しないで歩いている。 ☆追いかっこや鬼ごっこなどをしないで歩いている。
3 実際に歩く。	○体育館や校庭の白線などを利用し、その右側を歩かせる。（教室も可） ○体験をさせることで、安全意識を高めさせたい。 ①走っていく ⇒ 道路や道の中央に飛びださない！ ②白線がある ⇒ 白線の内側を歩く。（路側帯がある場合とない場合） ・ 路側帯がある道路・・・白線の右側を歩く。 ・ 路側帯がない道路・・・できる限り右側を歩く。 ③横断歩道がある ⇒ 横断歩道の前で止まる。 右、左、そしてもう一度、右を見る。 手を挙げて渡る。 ④ガードレールがある ⇒ ガードレールの内側を歩く。 ⑤縁石がある ⇒ 縁石の内側を歩く。 ⑥標識もない ⇒ 自分が進む方向の右側を歩く。 教室図 ○「行く途中で知らない人に声をかけられたら、走って逃げたり、子ども 110 番の家に逃げたりしましょう。」



横断歩道



ガードレール



横断歩道

おうだんほどの てまえで とまる



ガードレール



白線（路側帯）